

口頭発表プログラム 3月27日			
時間	座長	優秀若手発表賞発表	
13:00		Y01	野草地放牧下における草資源量の変化に伴う黒毛和種繁殖雌牛の行動・空間利用性の経時的変化 ○花村克起1・中嶋紀寛2（1農工大農学府・2農工大FSセ）
13:15		Y02	山地放牧地におけるウシの選択採食の評価：植物群落—フィーディングステーションスケールでの解析 ○鈴木彩伽1・桑 寛彦2・小倉振一郎2（1東北大農・2東北大院農）
13:30	休憩		
13:45		Y03	ドローンによる草地更新1年目のウマ放牧地の植被動態評価と放牧強度の影響 ○緒方海央・川村健介・南保泰雄・甕 美里・垣内香澄（帯畜大）
14:00		Y04	加速度センサデータの深層学習による放牧ウマ採食行動分類モデルの検討 ○垣内香澄1・川村健介1・緒方海央1・上田靖子2・上田宏一郎3・河合正人4・根岸菜都子5・松井 朗5（1帯広畜産大・2農研北海道・3北大院農・4北大FSC・5JRA日高育成牧場）
14:15	休憩		
14:30		Y05	放牧泌乳牛へのコーンサイレージ補給が放牧地における牛糞の分解と微生物バイオマス動態に及ぼす影響 ○佐藤 桃1・呉 成真1・三谷朋弘1・河合正人2・上田宏一郎1（1北大院農・2北大FSC）
14:45		Y06	放牧地の傾斜および植生が四足歩行ロボットの走行に及ぼす影響 ○木本遥己・柿原秀俊・胡日査・渡辺也恭・平野清（農研西日本）
15:00	休憩		
15:05	座長	（情報提供）	
			農林水産技術会議事務局 令和8年度予算概算決定の概要 ○堤道生（農林水産省）
口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。 時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。			

口頭発表プログラム 3月27日						
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培
16:00		101	日本国内の草原植物に含まれる水銀 ○伊禮聡1・米村正一郎2・亀山哲3・島崎彦4・佐久間東陽4 (1国水研・2県立広島・3国環研・4木更津高専)	16:00		201 長野県における播種後1年目のジョンソングラスの生育特性および栄養価 ○野口麗菜1・中田 花1・齋藤壮馬1・今井裕理子2 (1信大院総理工・2信大農)
16:15		102	都井岬のシバ型草地における現存量と被食量および再生量の 24年間の変動 ○西脇亜也 (元 宮崎大・農)	16:15		202 蹄耕法によりオーチャードグラス衰退放牧地へ追播した新品種「なつひかり」等による草地生産性の改善 ○北川美弥 (農研畜産)
16:30		103	シカ防護柵の有無が北海道東部の牧草生産性に及ぼす影響評価 ○田中常喜1・清野大樹1・稲富佳洋2・亀井利活3・白根ゆり2・有田敬俊1・遠藤哲代1・釣賀一二三2 (1道総研酪農試・2道総研エネ寒地研・3道総研本部)	16:30		203 北海道における垂直式営農型太陽光発電が農作業効率に及ぼす影響 ○吉岡 徹・土井和也 (酪農大循環農)
16:45		104	ヒツジの野草地放牧におけるキク科野草の有用性 ○友田和沙1・高岸愛可2・藤田千鶴2・辰野遥夏2・浅野桂吾2 (1石川県大院生資環・2石川県大生資環)	16:45		204 飼料用ダイズ栽培に適した春播種リピングマルチ用の草種・品種の検討 ○出口 新・森田聡一郎・嶋野英子 (農研東北)

口頭発表プログラム 3月27日						
時間	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		時間	座長	6. 育種
16:00		401	群飼養された乳牛の寒冷期と暑熱期の飼料摂取量および乳量の比較 ○花田正明 (帯広畜大)	16:00		601 「咲かないイネ」のWCS 用イネ品種化に向けた、Os1900・Os5100 遺伝子変異導入による分けつ能力の強化 ○土屋征樹1・Ammar Elakhdar1・西出典子1・橋本舜平1・宮崎虹輔1・波平知之2・森田隆太郎1・青木直大1・井澤 毅1 (1東京大院農・2琉球大農)
16:15		402	Molasses effects on fermentation dynamics and downstream ruminal metabolomic responses of Guinea grass-cowpea silage across ensiling periods ○Armess Prince Gynth Sossou・Masato Yayota (UGSAS, Gifu University)	16:15		602 チモシーにおける初期生育性の選抜効果 ○飯田憲司1・高島聡史1・鈴木美玲1・足利和紀2 (1道総研北見農試・2道総研畜試)
16:30		403	ライムギ新規育成系統SUR-10サイレーズの栄養価、発酵品質および嗜好性 ○中田 花1・野口麗菜1・齋藤壮馬1・今井裕理子2 (1信大総理工・2信大農)	16:30		603 寒地向けオーチャードグラス晩生新品種「キタハレ」および「イコロ」の育成とその特性 ○眞田康治1・秋山征夫1・佐藤広子1・田村健一2・安達美江子3・岩淵 慶3・奥村正敏3 (1農研北海道・2農研畜産・3ホクレン)
16:45		404	糖やFJLBを添加したライムギサイレーズの発酵品質と栄養価 ○今井裕理子1・中田 花2 (1信大農・2信大総理工)	16:45		604 フェストロリウム「なつひかり」の九州低標高地における周年利用栽培での特性 ○荒川 明1・本室綾女2・衛藤央好2・石井 怜2・齊藤武志2・上床修弘1・高井智之1 (1農研九州・2大分農水研指セ畜産研)

口頭発表プログラム 3月29日							
時間	座長	1. 草地生態・システム分析・緑地環境		時間	座長	2. 造成・管理・栽培	
9:00		105	ドローンRGB画像による草量推定：植被率と群落高導入によって他時期・他地域でも安定して使えないか？ ○川村健介1・安田泰輔2・齋 美里1・秋山雄希3・田中常喜3・花田正明1・土井和也4・三枝俊哉4・八木隆徳5・須藤賢司5（1帯畜大・2山梨富士山研・3道総研酪試・4酪農大・5農研北海道）	9:00		205	飼料用トウモロコシに対する作物生育モデルWOFOSTの転流動態を反映したモデル構築の試み ○今 啓人1・廣田和也・堀越瑞貴2・松村悠生2・櫛山魁士2・横山結衣3・岡元英樹4・中島大賢5（道総研畜試・2北大院農研・3岐阜大院農研・44道総研天北・5北大院農）
9:15		106	出現数による草地の植生調査法における「ベータ2項分布」と「べき乗則」の関係 ○塩見正衛1・陳 俊2・安田泰輔3（1茨城大学・2西北農林科技大・3山梨県富士山研究所）	9:15		206	夏播き赤紫色スイートコーンの南九州における地域適応性 ○井戸田幸子1・西村拓也1・尾上未夏・西村幸次2・飛佐 学1・石井康之3（1宮大農・2JSeed, Inc.・3元宮大農）
9:30		107	出現数による草地の植生調査法：ベータ2項分布を用いて ○塩見正衛1・陳 俊2・山村靖夫1・紺野由佳1（1元・茨城大理・2西北農林科技大草業・草原）	9:30	休憩		
9:45	休憩			9:45	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用	
10:00				10:00		405	夏季におけるTMRの二次発酵防止剤としての醸造酢の効果 ○小橋有里・関 誠（全酪連酪技研）
10:15	座長	4. 飼料調製加工・貯蔵・利用		10:15		406	肥育牛向け発酵TMRの水分含量・濃厚飼料割合および貯蔵期間が発酵による栄養損失に及ぼす影響 ○河内大介1・森 欣順1・今成麻衣1・服部育男2・細田謙次1（1農研九沖・2東海大農）
10:30		407	非対称電界イオン移動度スペクトロメトリによる牧草サイレージ発酵品質のオンサイト推定の可能性 ○清野大樹1・湊 啓子2・田中常喜1（1道総研酪農試・2道総研畜試）	10:30	座長	7. 土壌・肥料	
10:45		408	携帯型近赤外分光器を用いた飼料用トウモロコシ未乾燥・未破砕サンプルのCP 含量測定精度の検証 ○福永優太1・加藤直樹1・村木正則1・高井智之1・服部育男2・後藤慎吉1・池田堅太郎1（1農研九沖・2東海大農）	10:45		701	飼料生産組織園場における土壌分析等に基づいた堆肥の施用がギニアグラス「うーまく」の収量および成分におよぼす影響 ○金子 真1・加藤直樹2・後藤慎吉2・林 征幸3・吉川好文2（1農研畜産・2農研九沖・3農研本部）
		409	飼料收穫機用破砕機の開発 ○川出哲生1・大澤 玲2（1農研農機・2埼玉農技研）			702	イネ科牧草の番草毎の放射性セシウム移行に及ぼす影響要因 ○山田大吾・内山和宏・渋谷 岳（農研畜産）

口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。時間厳守。また、プロジェクトが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。

口頭発表プログラム 3月29日			
時間	座長	8. シニア発表	
9:00		801	Jack R. Harlanの「Crops and Man」再考 ○中川 仁（元 農研バイオマス研究セ）
9:15		802	NAROインキュベーションラボの取り組み ○米丸淳一・山田哲也・梶浦雅子・鐘ヶ江弘美・工藤喜福・福田寛史・和田 楓（農研農情）
9:30		803	医学博士夫妻が挑んだスギと牧草の花粉飛散研究 ○雑賀 優（元岩手連大）
9:45		804	外来雑草事始めー帰化雑草が外来雑草に変わった時 ○清水矩宏（元農研畜産）
10:00	休憩		
10:15	座長	2. 造成・管理・栽培	
		207	晩秋の異なる刈取り時期がペレニアルライグラスにおける非構造性炭水化物組成と越冬性に及ぼす影響 檜山魁士1・松村悠生1・中島大賢1・○山田敏彦2（1北大院農・2北大FSC）
10:30		208	気候変動下においても変化しない寒地型牧草の最終刈取り危険帯が越冬リスクへ与える影響ー過去のオーチャードグラスの栽培記録を用いた解析ー ○中村直樹1・下田星児2・眞田康治2（1道総研酪農試・2農研北海道）
10:45		209	トールフェスク「スワイ」の耐寒性と採草利用時の生産性 ○佐藤靖武1・白川結美子1・安達美江子1・岩淵慶1・中村直樹2・有田敬俊2（1ホクレン・2道総研酪農試）
<p>口頭発表は講演時間12分、質疑応答3分（一鈴：10分、二鈴：12分、三鈴：14分30秒）です。</p> <p>時間厳守。また、プロジェクターが不調の場合には、講演要旨を用いて発表してください。</p>			